

# 看護研究 第35巻 総目次

2002年(第1号～第6号)

〔表示は、題名、著者名、(号)掲載ページ〕

## 焦点◆訪問看護の現状とグランドデザイン

(企画：岡谷恵子・佐藤美穂子・村嶋幸代)

- 訪問看護制度の変遷。佐藤美穂子，(1)3-14。  
訪問看護－病院から訪問看護ステーションへ。村嶋幸代・永田智子・春名めぐみ，(1)15-24。  
データにみる介護保険施行後の訪問看護の実態。石井やよ江，(1)25-35。  
データにみる介護保険施行後の訪問看護ステーションの経営実態。濱本百合子・緒方泰子，(1)37-44。  
訪問看護の効果－在宅ターミナルケア。川越博美・長江弘子・酒井昌子・松村ちづか，(1)45-56。  
訪問看護の人材育成の変遷と課題。岡谷恵子，(1)57-65。  
海外の訪問看護の実態－日本の将来展望のために。島内節，(1)67-77。  
介護保険施行後の訪問看護のグランドデザイン。佐藤美穂子・岡谷恵子・村嶋幸代，(1)78-80。

## 焦点◆Evidence Based Nursing－その

基本と実践・研究・教育への活用

(第33回聖路加看護大学セミナーより)

- 看護実践におけるエビデンス－EBNとは何か？どのように実践したらよいのか？。Linda Johnston(外崎明子・監訳)，(2)3-9。  
文献検索ガイド－EBNを実践するための情報源。松本直子，(2)11-19。  
リサーチ・クリティーク－研究をどう評価するか。Linda Johnston(外崎明子・監訳)，(2)21-26。  
エビデンスに基づく看護実践－尿失禁ケアの試み。小松浩子，(2)27-34。  
臨床現場でのEBMの実践－高齢者収縮期高血圧患者を例に。名郷直樹，(2)35-42。  
エビデンスを実践に活かす－実践の場で変革を進めるための戦略。Linda Johnston(外崎明子・監訳)，(2)43-47。  
フォーラム。(司会)堀内成子・外崎明子／Linda Johnston・松本直子・小松浩子・名郷直樹，(2)49-54。

## 焦点◆慢性性(Chronicity)と生活史に焦点を当てた看護学的研究

これからの慢性疾患研究に求められる視点

(企画：黒江ゆり子)

- 病いの慢性性 Chronicity と生活者という視点－コンプライアンスとアドヒアランスについて。黒江ゆり子，(4)3-17。  
病いの慢性性 Chronicity と個人史－わが国におけるセルフケアから個人史までの軌跡。黒江ゆり子・藤澤まこと・普照早苗，(4)19-30。  
抗 HIV 薬の服薬アドヒアランスの維持因子。井上洋士・岩元愛吉・榎原 健・小島賢一・乃村万理・堀成美・村上未知子・山元泰之，(4)31-42。  
〔翻訳〕思春期にある慢性疾患患者のコンプライアンス測定用具の開発。Helvi A. Kyngäs, Carrie A. Skaar-Chandler, Mary E. Duffy(内藤明子・訳)，(4)43-52。  
医療人類学からみた慢性疾患と人間。佐藤知久，(4)53-60。  
〔座談会〕これからの慢性疾患に関する研究の視点。黒江ゆり子・井上洋士・佐藤知久・市川元子，(4)61-68。

## 焦点◆実践に向けた高齢者ケア研究の

方向性と課題

(企画：中島紀恵子)

- わが国における痴呆性高齢者のデイケアに関する研究の動向と課題。伊勢崎美和・北川公子，(5)3-12。  
わが国における高齢者のうつに関する研究の動向と課題。井出訓・高岡哲子，(5)13-29。  
痴呆高齢者の摂食困難の評価とケアに関する研究の動向と課題。山田律子，(5)31-45。

## 焦点◆看護継続教育論

3領域への研究的アプローチ

(企画：舟島なをみ)

- わが国における看護継続教育研究の動向。舟島なを

み・定廣和香子, (6)3-14.

看護問題対応行動自己評価尺度(OPSN)の開発. 定廣和香子・山下暢子, (6)15-26.

看護管理者が知覚する院内教育の課題. 三浦弘恵, (6)27-34.

看護学教員のロールモデル行動に関する研究-ファカルティ・ディベロップメントの指標の探求. 村上みち子・舟島なをみ, (6)35-46.

#### 〔原著論文〕

看護師の職業的アイデンティティに関する中範囲理論の構築. グレグ美鈴, (3)2-10.

マッサージによる筋肉内注射時の痛みの軽減. 森下晶代・中田康夫・阪本智華・高谷嘉枝・藤原由佳・津田紀子, (3)11-18.

症状マネジメントにおける IASM の有効性の検討-がん性疼痛の症状マネジメントにおける比較から. 荒尾晴恵, (3)19-33.

透折をしながら働く中年期男性における生きがいと生活史的仕事の関係. 内田雅子, (5)47-61.

脊髄損傷者の受傷による苦悩から立ち直りに向け意識が変化する要因. 坂本雅代・前田智子, (5)63-73.

育児期の家族のなかで「家族」と「女性」に健康的な生活をもたらすプロセス. 山崎あけみ, (6)49-65.

#### 〔総説〕

多胎家庭における母子愛着関係の発達とファミリーサポート上の課題. 服部律子・早川和生, (3)35-43.

#### 〔研究報告〕

早産児の父親:突然の妊娠中断から緊急帝王切開まで. 大原良子, (2)57-65.

断酒に至る認識変容過程-断酒会会員を例として. 心光生津子, (3)45-55.

#### 〔調査報告〕

看護学生から看護師への共感性の発達-(第1報)共感尺度得点からの検討. 林 智子・河合優年, (5)77-84.

#### 〔実践報告〕

オンライン多肢選択問題プログラムを利用した自己学習の促進-使用後のアンケート調査からの評価. 稲垣健治・鈴木恵理子・益田美穂子, (6)69-79.

#### 〔特別記事〕

脳科学からみた看護. 南 裕子, (3)59-60.

脳生理学的視点からみた熟練看護師の能力. 渡辺かつみ, (3)61-66.

エンパワメントを脳科学的にみる. 玉木敦子, (3)67-73.

#### 〔連載 21st Century Message from World to World〕

Writing for the Nurse Researcher. Mary Jo Clark, (1)87-94.

Guided Reflection as a Developmental and Research Process. Christopher Johns, (2)69-80.

How to Use Evidence-based Resources to Guide Nursing Practice-Part 1. Faith C. Donald & Alba DiCenso, (3)75-81.

How to Use Evidence-based Resources to Guide Nursing Practice-Part2. Faith C. Donald & Alba DiCenso, (4)73-84.

#### 〔連載 看護研究に役立つソフト・IT 活用術〕

猫田泰敏

③論文の執筆に活かす. (1)95-102.

④ファイルの共有に活かす. (2)81-88.

⑤ファイルの保存に活かす. (3)83-89.

⑥ファイルとソフトの検索に活かす. (4)85-90.

⑦連載原稿ができるまで. (5)85-91.

⑧文献の検索・保存・引用に活かす. 81-88.

#### 〔書評〕

看護研究全体を理解する時の新しいタイプの書、『看護研究ワークブック-基礎からの実力養成 96 課題』, [評者]グレグ美鈴, (1)81.

がん患者・家族・ナースの希望, 実践と研究が統合されるという希望, そして読者の希望が「拡張」する書, 『希望としてのがん看護-マーガレット・ニューマン「健康の理論」がひらくもの』, [評者]河正子, (2)56.

QOL 尺度を活用するための強力なナビゲーター, 『臨床のための QOL 評価ハンドブック』, [評者]佐藤和佳子, (3)58.

エビデンスに基づく症例報告の方法論とその背景となる知識を教える書, 『EBM 時代の症例報告』, [評者]阿部俊子, (4)69.

日々の研究・教授活動の振り返りに活用できる, 『看護教育学研究-発見・創造・証明の過程』, [評者]筒井

真優美, (6)47.

改めて概念としてのクリティカルシンキングを整理する書,『看護にいかすクリティカルシンキング』,〔評者〕野地有子, (6)48.

〔Book Notice〕

(1)82-83, (2)66-67, (3)56-57, (4)70-71, (5)

74-75, (6)66-67.

〔Research News from Nature〕

(1)66・77, (2)68・80, (3)60・66・73・81, (4)72・84, (5)62, (6)68.

医学書院ホームページをリニューアルしました。

<http://www.igaku-shoin.co.jp>

- **ショッピングカートシステム**で、ご希望の商品をより速く検索・注文できます。
- 「**医学書院メンバーシップ**」にご登録いただくと、オンラインショッピングで、住所などの再入力が必要になります。
- **検索機能が充実!**  
医学書院の発行物を簡単に検索できます。  
また、検索結果の並び替えも可能になりました。
- **週刊医学界新聞**のページでは、**最新の医学・看護情報**をお届けします。  
バックナンバーは、1996年からご覧になれます。  
また、メール配信サービスも受け付けています。



**医学書院**

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3 (販売部) TEL 03-3817-5657 FAX 03-3815-7804  
E-mail [sd@igaku-shoin.co.jp](mailto:sd@igaku-shoin.co.jp) <http://www.igaku-shoin.co.jp> 振替 00170-9-96693